審判員運営状況から見た課題と今後の対策検討

石川県野球協会審判部

目次

1、石川県野球協会事業ビジョン

2、石川県野球協会審判部運営状況まとめ

3、石川県野球協会運営状況

4、石川県野球協会審判員登録状況

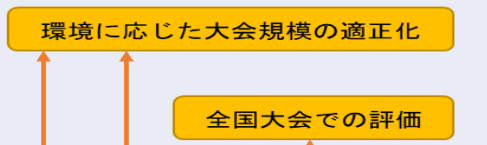
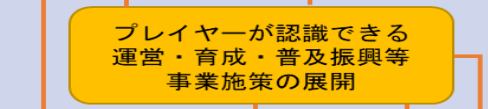
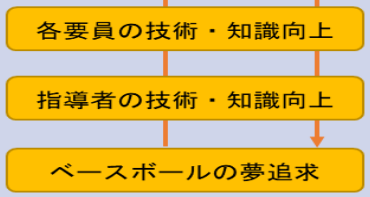
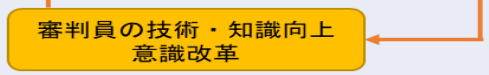
5-1、審判部員構成その１（支部・年代別）

5-2、審判部員構成その２（支部・年代別詳細）

5-3、審判部員構成その３（資格構成）

6、審判部事業費

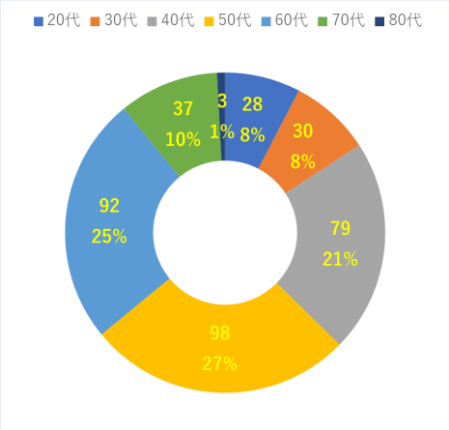
1、石川県野球協会事業ビジョン

目指す方向（ビジョン）	地域ベースボールを生涯スポーツとし楽しみ、競い合う環境整備を推進するため 地域加盟団体と一体となり透明性と足腰の強い運営基盤を構築する。			
区分	やりたいマップ	最終目標	具体的な項目	令和2年達成目標
１、プレイヤーズへの視点		①一般：国体・天皇賜杯運営の見直し（成年男子A級、B級、C級） ②一般：A級、B級、C級基準の県内適正化 ③少年：協会主催大会適正化 ④学童：ジュニア世代の大会規模の適正化	①②④過密スケジュールの解消（スケジュール委員会の県内調整） ①強化指定から最強チームを作る ②年間ポイント制による自動入替 ②レク性と競技性の大会分離（支部協働） ③④成長期の体つくりのため県大会を見直す	◆事業計画見直し（年間検証・レビュー） ◆一般軟式級別基準策定
２、事業費（透明性と足腰の強い組織）の視点		①競技者登録の変更（個人登録とチーム費用の適正化） ②地域野球基盤の確立（事業、育成、運営改善） ③課題探求と団体別運営組織の再構築 ④全国組織（NPB・全軟）、ブロック組織との関係強化 ⑤事業広報基盤の確立と広報要員の確保	①②チーム登録から個人登録に変更（事業計画、強化、育成、運営改善、全国＆ブロックとの関係管理として再構築） ③スケールメリットの活用と課題検討を分け組織をフラット化する（プロとの共同化、全軟は一社化） ④⑤全国大会開催に向けた関係強化と候補基盤の構築	◆組織見直し（プロ・アマ一体化、軟式組織の一社化） ◆事業費の透明化と事業区分別再配布
３、運営プロセス改善の視点（試合運営・審判運営）		①試合運営ベストライン構築（総括、グランド管理、記録、放送、報告） ②審判運営ベストライン構築（総括、手配管理、実施記録、報告）	①②大会毎の理事の役割をより明確にして、総括のもと支部と連携したベースラインを構築する	◆運営部、審判部のベースライン策定
4、育成と成長の視点（運営部）		①学童指導者の育成 ②放送要員の育成（支部協働） ③記録要員の育成（支部協働） ④運営要員の育成（支部協働） ⑤将来を見据えた女子（学童・中学）全国大会誘致 ⑥未就学児、低学年児への楽しいベースボール普及 ⑦次期ステップに向けた楽しさの追求（中学3年）	①学童指導者講習会の県内実施 ②③放送＆記録全国講習会へ派遣 ④運営部、強化部、審判部、育成部を各理事で構成し効率的・効果的に実施 ⑤決定後に全国大会準備委員会を設立して大会を実施する ⑥⑦各競技団体での育成施策を継続するとともに新たな施策を行う	◆学童指導者22名育成（次年度継続） ◆放送・記録核要員各1名育成（次年度継続） ◆ブロック・支部別理事数の見直し ◆全国大会誘致継続 ◆普及・振興企画 2回/年実施
５、育成と成長の視点（審判部）		①全野球をこなすステップ審判員の育成（加盟団体との連携） ②若手審判員の発掘と育成 ③指導審判員の育成	①②③大会レベル（社会人・大学・高校・一般軟式・学童）、層レベル（全国・ブロック・県）に応じた審判制度の見直しと指導者育成	◆育成：全国講習会3名、全国派遣1名、ブロック派遣2名

2、石川県野球協会審判部運営状況まとめ

育成

1）登録審判員数：367人
2）平均年齢：53.2歳



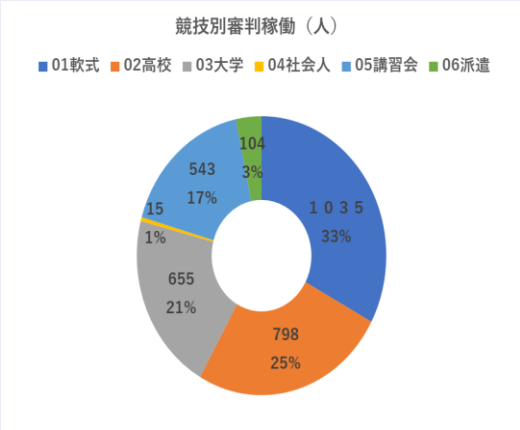
3）資格

00_国際	01_1級	02_2級	03_3級	05_新規
2人	111人	198人	39人	17人

4）講習会・各種大会派遣
・全連盟の全国、ブロックおよび県内講習会参加
・全連盟の全国、ブロック大会への参加
・都道府県指導者育成

運営

1）大会運営：延2503人



■軟式：延1035人
■高校：延798人
■大学：延655人
■社会人：延15人

新たな取組

1）大会レベル（社会人・大学・高校・一般軟式（Ａ級・Ｂ級・Ｃ級）・学童）、層レベル（全国・ブロック・県）に応じた審判制度の見直しと指導者の育成
■全日本審判評価制度に基づいた県審判員の育成
・すべての野球をこなすステップアップ審判員の育成
・若手審判員の発掘と早期育成
・指導員の育成
2）県高野連と連携した現役高校生審判の育成・検討
3）未就学児、小学校低学年を対象としたＴボール普及審判員の育成
4）ベースボール５普及審判員の育成検討

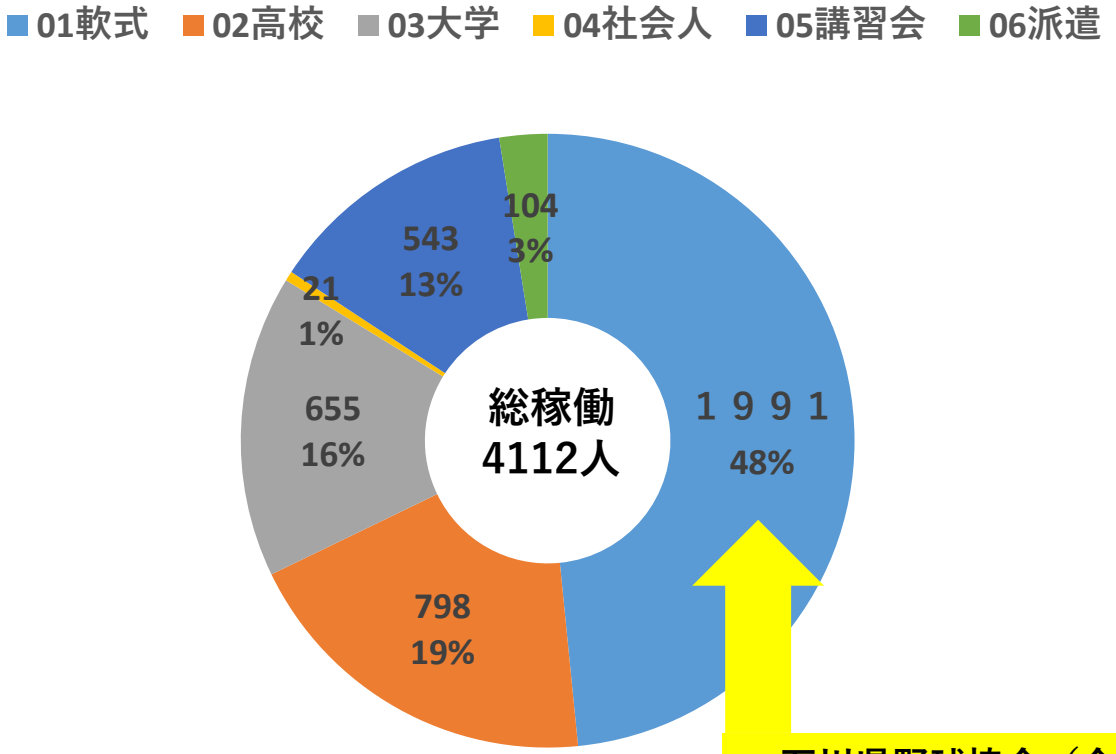
各団体との関係

1）全国競技団体とのコミュニケーション
■ＢＦＪ資格審査
■全日本大学部会
■全日本高野連審判部会
■全日本軟式野球連盟評議員会
2）ブロック＆県内団体とのコミュニケーション
■大学連盟運営部会
■高校野球連盟運営部会
■北信越軟連総会
■県協会評議員会
■県全軟連運営部会
■県全軟連強化部会
■県体協評議員会
■県体協理事会
■県体協強化部会
■社会人北信越審判部会

3、石川県野球協会運営状況

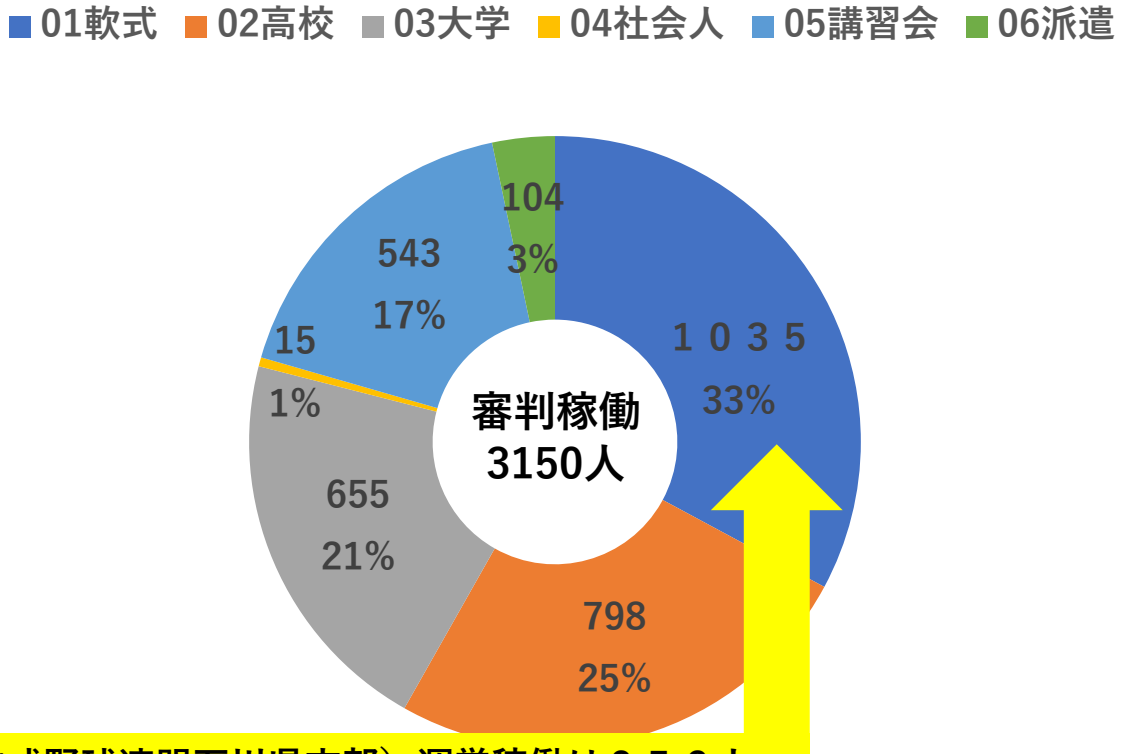
運営部・強化＆普及部・審判部

県協会運営総稼働



審判部

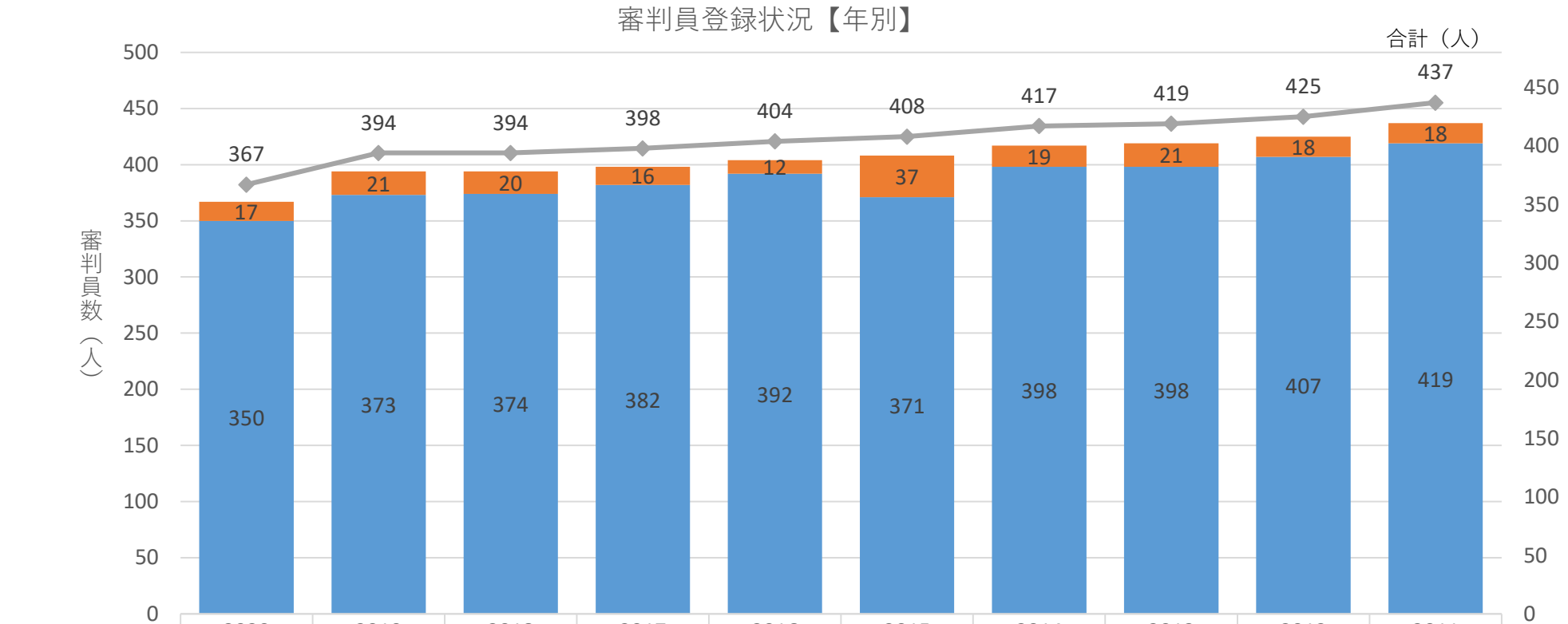
競技別審判稼働（人）



石川県野球協会（全日本軟式野球連盟石川県支部）運営稼働は９５６人

データは2019実績

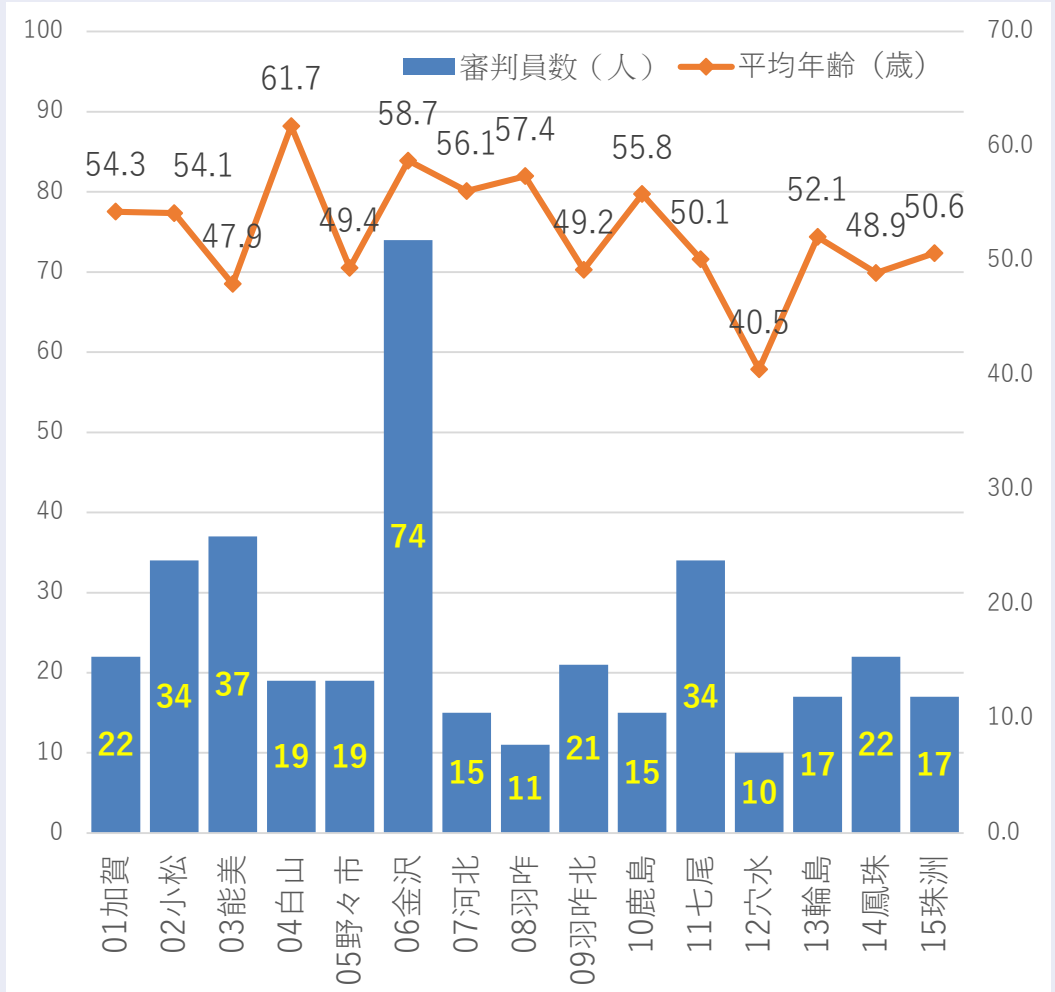
4、石川県野球協会審判員登録状況



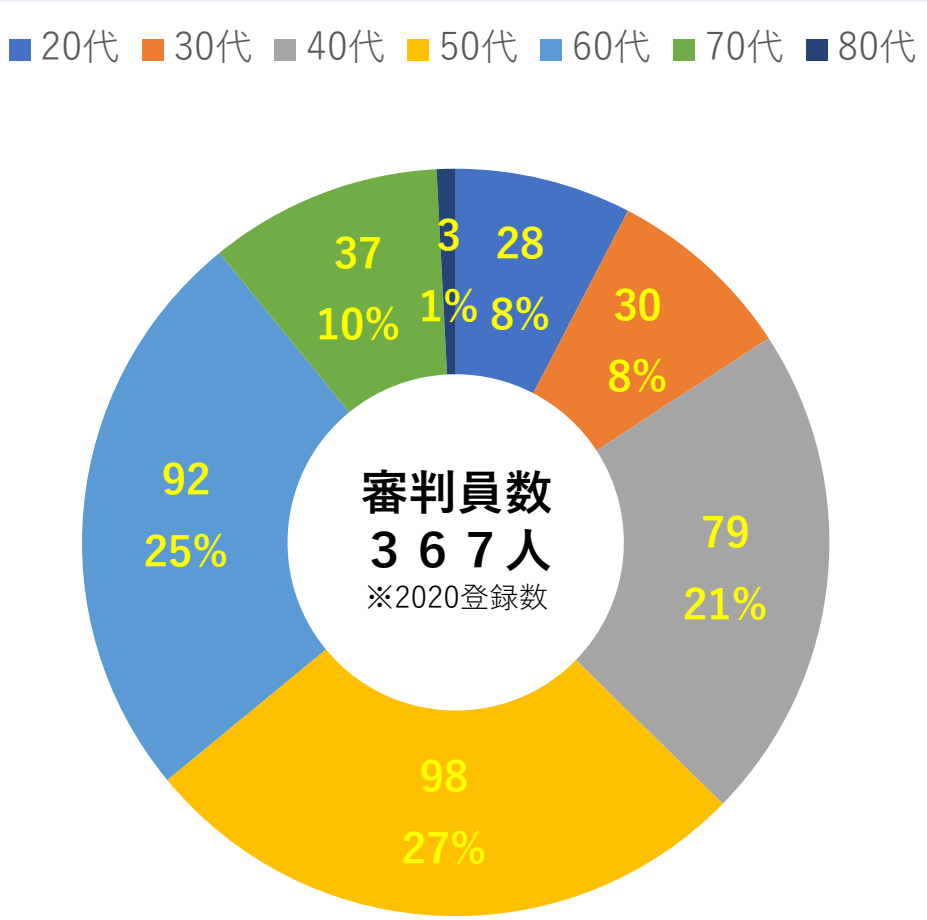
	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
新規（人）	17	21	20	16	12	37	19	21	18	18
継続（人）	350	373	374	382	392	371	398	398	407	419
合計（人）	367	394	394	398	404	408	417	419	425	437

5、審判部員構成【総数３６７人　平均年齢５３．２歳】その１

支部別構成

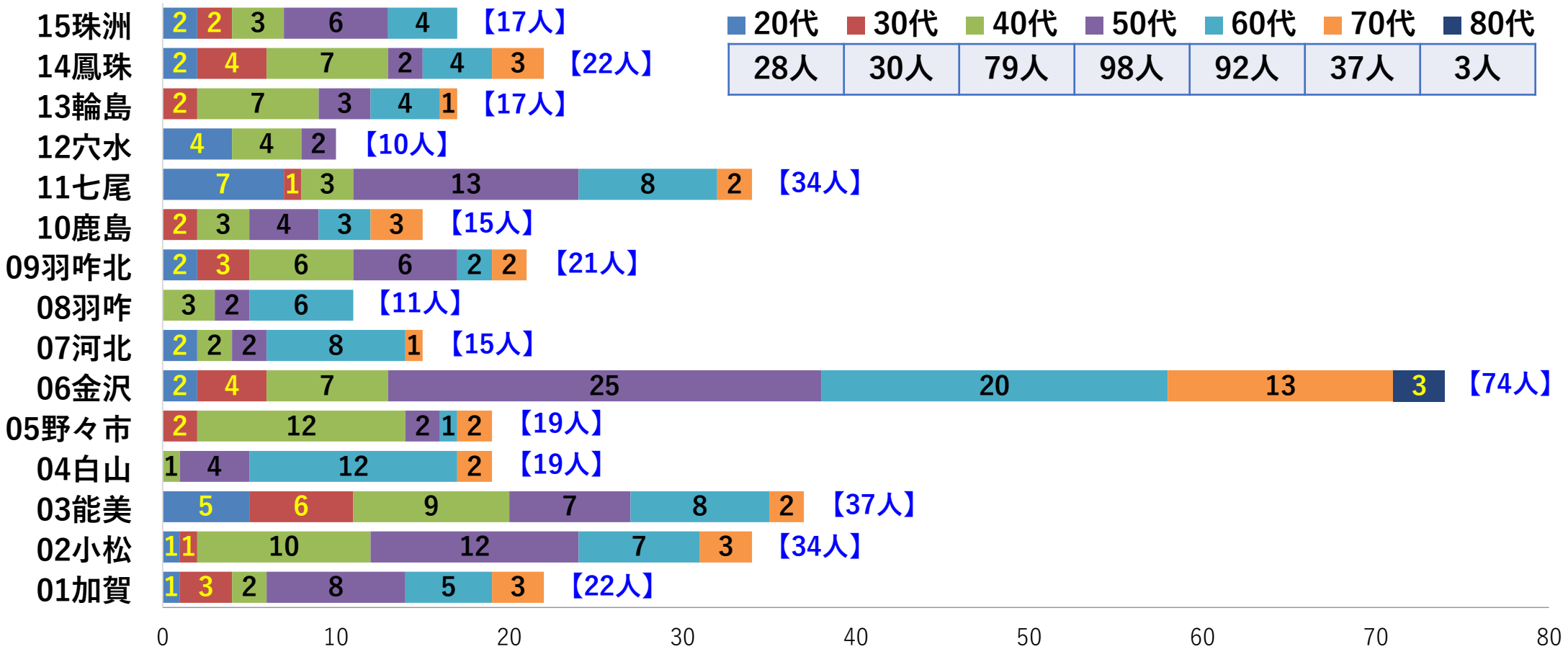


年代別構成



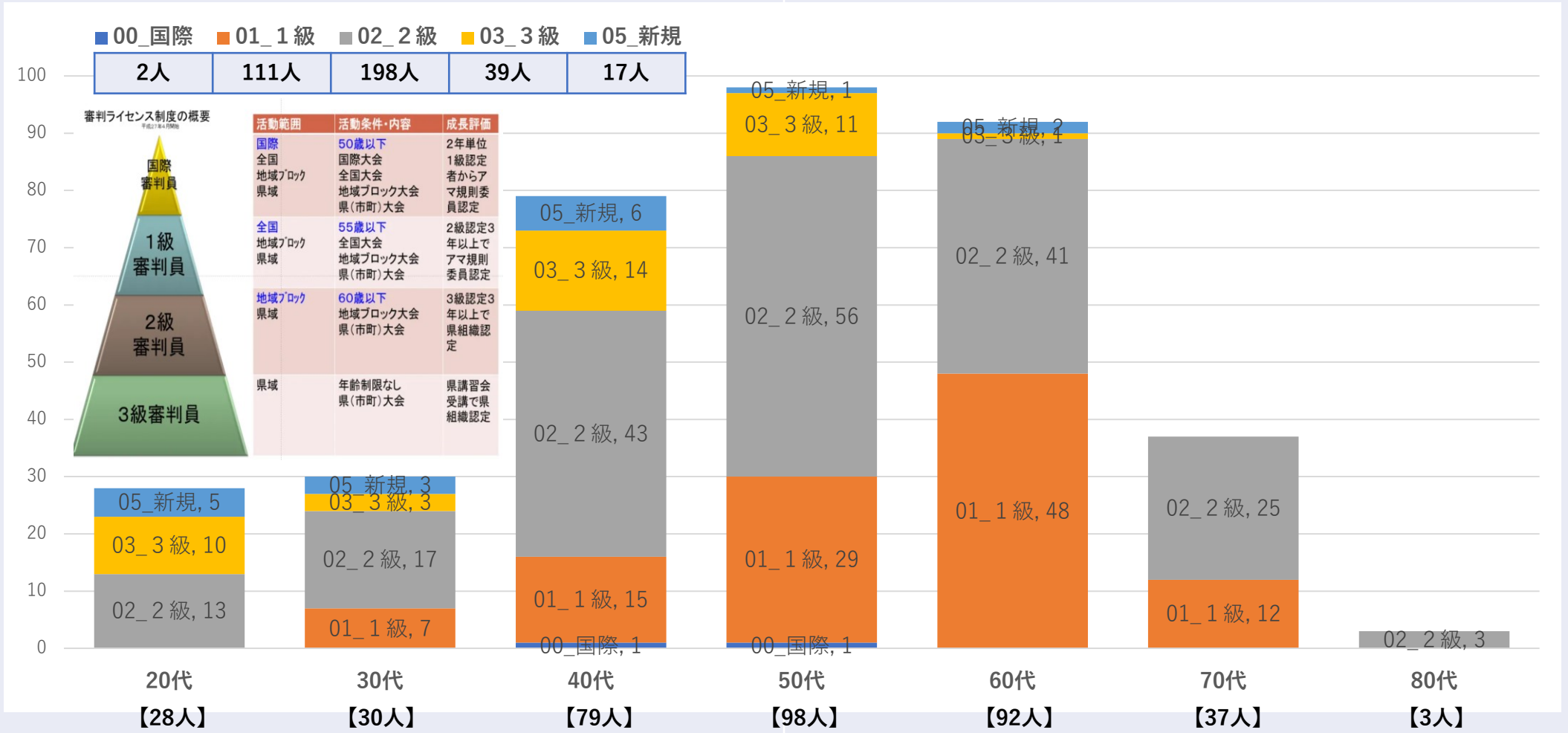
5、審判部員構成【総数３６７人　平均年齢５３．２歳】その２

支部別年代別構成



5、審判部員構成【総数３６７人　平均年齢５３．２歳】その３

年代別資格構成



6、審判部事業費

全コスト（　26,740,000　）

用具・被服費	登録費	育成費・派遣費	運営費	管理費
【用具費目】 マスク、プロテクター、レガース、スパイク、ボールバック、インジケータ、ブラシ、オーダークリップ、バナナカップ、筆記用具、スパイクオイル、用具バック、ルールブック、全軟必携 【被服費目】 帽子、半袖上着、長袖上着、半袖アンダーシャツ、長袖アンダーシャツ、ベルト、冬用ズボン、夏用ズボン、トランクス、アンダーパンツ、アンダーソックス **総額10万～15万/人** （減価償却3年367人） **合計　18,350,000**	【登録費目】 （県登録） 新規：3500円/人 継続：3000円/人 （全軟登録） 500円/人 ※2020実績 【年間登録】 1,109,500円 新規：17人 59,500円 継続：350人 1,050,000円 【全軟登録】 登録：95人 47,500円 **合計　1,157,000**	【育成・派遣費目】 ・ＢＦＪ全国講習会 ・ＢＦＪ北信越講習会 ・ＢＦＪ都道府県北信越ブロック講習会 ・全日本大学連盟審判部会 ・全日本高等学校野球連盟全国講習会 ・全日本高等学校野球連盟北信越講習会 ・全軟連技術研修員講習会 ・全軟連技術指導員ブロック講習会 ・全軟連北信越ブロック講習会 ・北信越国体派遣 ・全日本大学選手権派遣 ・愛知・東海・北陸大学連盟選手権派遣 ・全日本高等学校野球連盟選手権派遣 ・全日本高等学校野球連盟選抜派遣 ・北信越高等学校野球連盟春季派遣 ・北信越高等学校野球連盟秋季派遣 **合計　809,000**	【運営費目】 ・講習会運営費 ・役員会運営費 ・幹事会等会議費 小計　45万円 ・大会関係運営費 （延2503人） -全軟連県大会 -社会人大会 -北陸大学大会 -高野連大会 -その他各種大会 小計　500万6千円 **合計　5,456,000**	【管理費目】 ・事務費 ・通信費 ・公開管理費 小計　15万 ・関係交流費 ・慶弔費 小計　28万 ・予備費 小計　53万8千円 **合計　968,000**